

R7年度 天草支援学校

人権教育の取組（全体・小・中・高）

全体

令和7年度の取組

第三次とりまとめ

①全ての教育活動を通じた人権教育の
土壌づくり

令和6年度(2024)

単元	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
1. あいさつ・笑顔・感謝など、基本的な人との関わり												
2. 声かけ・気づかい・支え合い												
3. 感謝・承認・称賛の言葉や態度												
4. 対話・傾聴・意見の尊重												
5. 公平・安全な環境の中で共に過ごすこと												

単元配列表(R6)

Xからの手紙(R6)

私の好きな言葉集(R7)

人権尊重の土壌(R7)

熊本県教育庁市町村教育局 人権同和教育課HPより

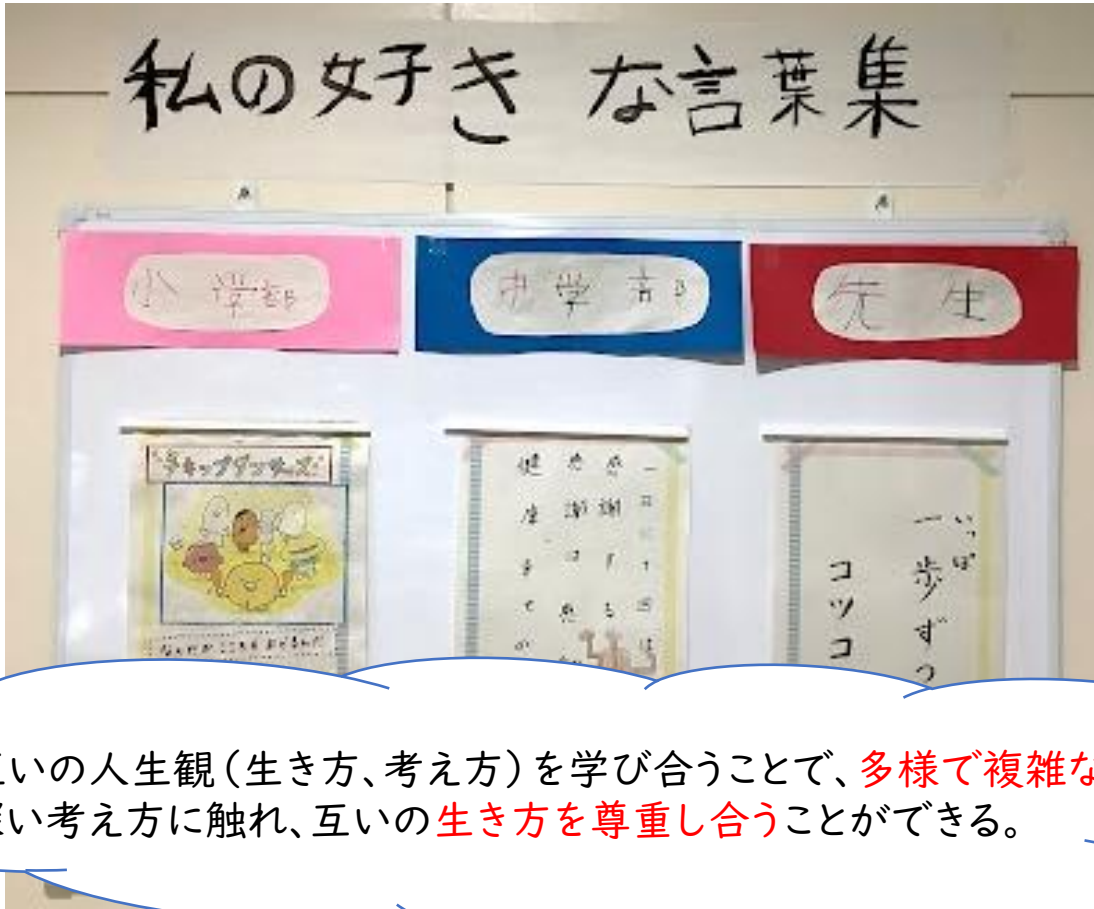
個別的な人権課題

- 料をクリックしてください。
- 令和3年(2021年)3月作成・約22分)
- ② 水俣病をめぐる人権【令和3年(2021年)3月作成・約12分】
 - ③ ハンセン病回復者及びその家族の人権【令和3年(2021年)3月作成・約12分】
 - ④ 拉致問題その他北朝鮮当局による人権侵害【令和3年(2021年)3月作成・約12分】
 - ⑤ 性的指向・性自認に関する人権【令和3年(2021年)3月作成・約15分】
 - ⑥ 新型コロナウイルス感染症に関する偏見や差別の未然防止について【令和4年(2022年)3月作成・約20分】
 - ⑦ 人権教育の指導方法等の在り方について【第三次とりまとめ】【令和4年(2022年)3月作成・約23分】
 - ⑧ 熊本県人権教育推進計画【令和4年(2022年)3月作成・約25分】
 - ⑨ 部落差別(同和教育)【概要版】【令和6年(2024年)3月作成・約18分】

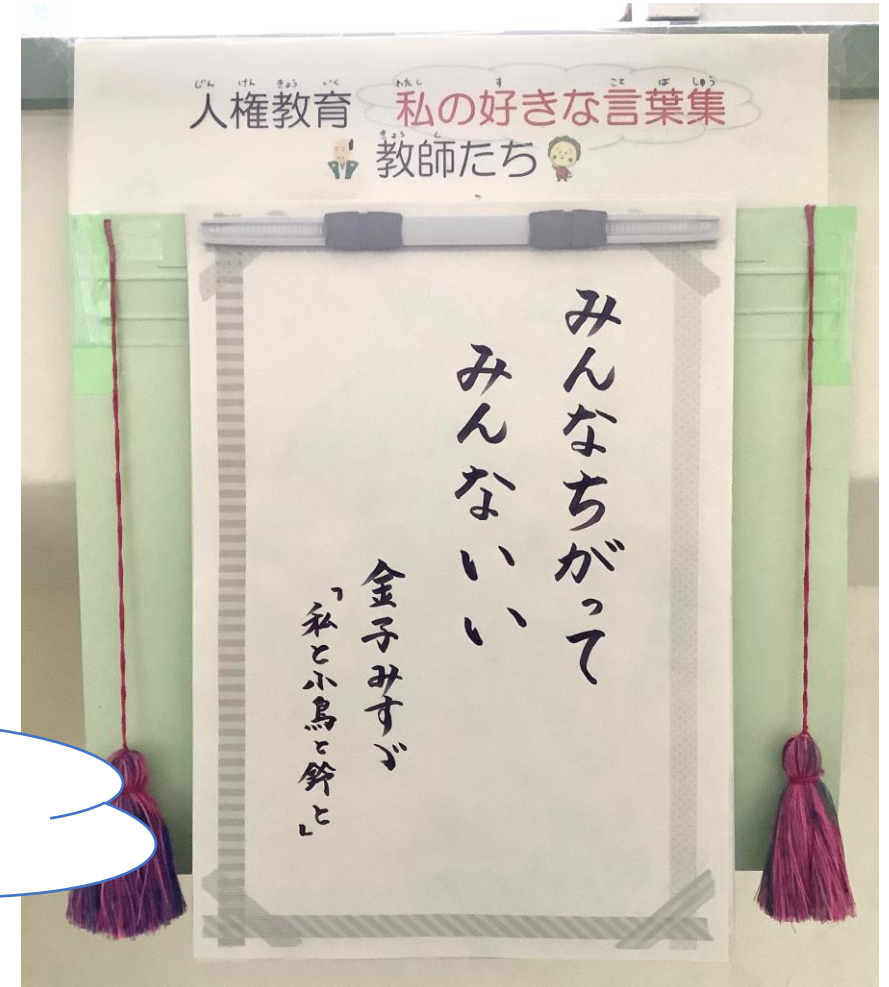
③色々な人権課題に
アンテナを張る



今年度は、計4回の人権に関する職員研修を行いました。①人権教育の土壌づくり、②児童生徒対応を想定したロールプレイ、③様々な研修内容から選べるデジタル研修資料の視聴、④各学部の実践報告を踏まえた人権教育についての協議、を行いました。



⑤互いの人生観（生き方、考え方）を学び合うことで、多様で複雑な価値観や深い考え方に触れ、互いの生き方を尊重し合うことができる。



また、人権週間に合わせて、⑤「私の好きな言葉集」と題し、一人一人が大切にしている言葉を紹介し合う実践をしました。全体計画（目的）を提示し、各学級に児童生徒の実態に応じて最も教育的効果が上がるように裁量してもらいました。この取組は、児童生徒間だけではなく、職員間でも実施しました。

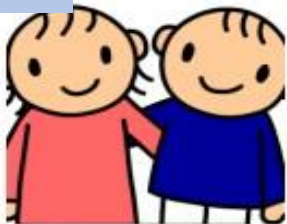


小学部



令和7年度の取組





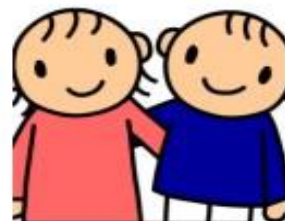
しょうがくぶ じんけん もくひょう



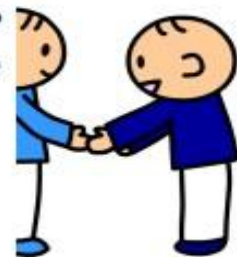
・がんばっていることを みつけよう！
ふやそう！



・ともだちと いっしょに やってみよう！



・まわりのひと（ちいきのひと）と
きもちを つたえあおう！



がんばっていることを みつけよう！ ふやそう！



自分が頑張っていることや自分の長所について学習しました。子供たちの実態に合わせて、これから頑張りたいことを選択肢から選んだり、子供たちがお互いに長所を伝え合ったりしました。拍手やワークシートをもらうことで、嬉しい気持ちを実感していました。

じんけんポスターを かこう！



「自分だけでなく、全員がにこにこ笑顔で学校生活を送れるようにみんなで考えよう。」と、目的を確認してから取り組みました。友達の名前を呼びながらかいたり、あたたかい色を選んで作成したりして、完成することができました。

ともだちといっしょに やってみよう！ ～あきまつりをしよう～



5つの縦割りグループで分かれて、それぞれでお店をつくりました。道具を譲り合いながら、みんなで1つの作品制作にも取り組みました。秋祭り当日は、店員とお客さんを交代しながら、友達とゲームをしたり、写真を撮ったりして楽しみました。

先生たちも がんばっていることを みつけよう！ ふやそう！

裕子

黒川裕子

7月16日（最終編集: 7月17日）

1学期人権目標

『がんばっていることを みつけよう！ふやそう！』

7月17日 木曜日

<連絡事項>

<朝会議題>



毎月の学部会で、人権目標にちなんだ内容を教員同士で話す時間を設けました。子供たちの素敵な姿だけでなく、教員同士が子どもたちと関わる上で大切にしていることを話し、それぞれのことを認め合いました。また、担当から人権教育に関するお知らせを行い、啓発を図りました。

中学部

令和7年度の取組

R7年度の取組

学期	中学部人権目標
1学期	<ul style="list-style-type: none"> ・自分のよいところを探そう ・〇〇チャレンジをしよう
2学期	<ul style="list-style-type: none"> ・友達のよいところを探し伝えよう ・友達と〇〇チャレンジをしよう
3学期	<ul style="list-style-type: none"> ・周りの人に感謝の気持ちを伝えよう

授業形態：特別活動

※4月、6月、12月、1月の計4回 特設の授業

※日頃の学習活動において、成功体験を増やし、自己肯定感や自己有用感を高めていく。

「天草支援学校いじめ0宣言を知り、じぶん宣言を考えよう！」

天草支援学校いじめ0宣言

1. 相手がうれしくなる言葉遣いを心がけよう。
2. 相手の悪いところではなく、いいところを見つけよう。
3. 友達を大切にして笑顔を大事にしよう。
4. 悩まずに、今の思いを言ってみよう。
5. こまった人を見かけたら、やさしく助けよう。

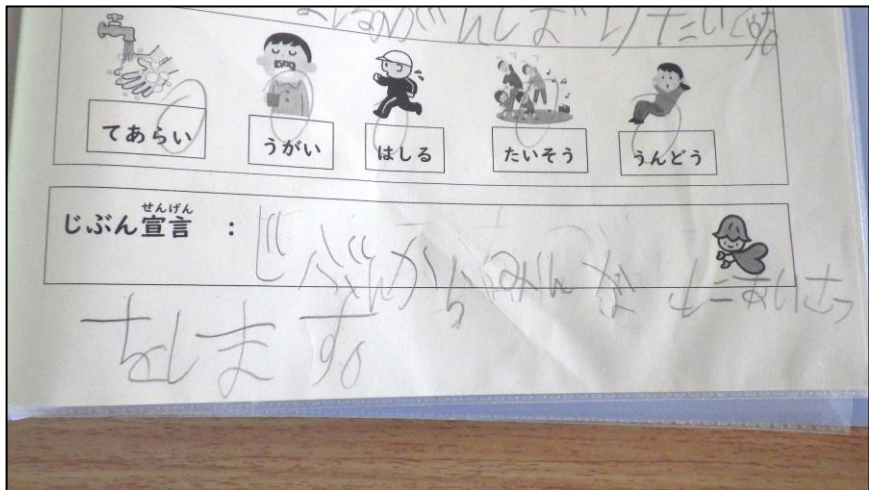


中学部代表

令和7年度 児童生徒会

せんげん ちか
この宣言を誓い、
あまくさし えん がっこう こころ
天草支援学校の心の
ふか
きずなを深めましょう！

- ・いじめ0宣言を、児童生徒会代表の生徒が発表し、みんなで復唱。
- ・いじめ0に向けて一人一人にできることは何かを考え、「じぶん宣言」を作成。



- ・じぶんからみんなにあいさつをします。
- ・相手がうれしくなることばをつかう。やさしいことば。
- ・ともだちにやさしくする。 など



①「障がい児者・家族の作文」

- ・家族や学園の先生に「ありがとう」の気持ちを伝える。

→12名の生徒が作文に取り組みました。

②「心のきずなを深める」ためのポスター

- ・いじめを許さない学校を目指してポスターを
かいて学校に掲示し、みんなに伝える。

→10名の生徒がポスター描きに取り組みました。

「人権週間についてとじぶん宣言の振り返りをしよう！」



「ジーン&ケーンと一緒に考えよう! 「人権週間」と「こどものけんり」 / 日本ユニセフ協会・法務省



じんけん ひと しあわ い けんり
人権とは・・・人が幸せに生きていくための権利



せいひがい
性被害





インターネットひがい


これはどんなばめんかな？

※自分たちが幸せに生きていくことについて、学びを深めました。

「じぶん宣言の振り返りをしよう！」

運動面：健康面	
手洗い、うがいをする。	
持久走大会できつても余力を出す。	
じぶん宣言	
友達がうれしくなる言葉遣いをしていく。	

・友達がうれしくなる言葉遣いをしていく。

	毎日できた	時々できた	できなかった
学習面	◎	○	△
	毎日できた	時々できた	できなかった
運動健康面	◎	○	△
	毎日できた	時々できた	できなかった
じぶん宣言	友達にやさしく言葉かけをしていたけど 少しだけ言葉が荒くなる時があった。		
☆2学期頑張ったことを書こう			

・友達にやさしく言葉かけをしていたけど
少しだけ言葉が荒くなる時があった。

※生徒一人一人が、1学期を振り返ったり、新たな目標を設定しました。

「熊本県人権子ども集会を見よう！」

令和7年度（2025年度）熊本県人権子ども集会（オンデマンド配信）について

部落差別をはじめあらゆる差別をなくす

熊本県人権子ども集会

テーマ 結(ゆい) ～^{かがや}輝き方^{かた}は無^む限^{げん}大^{だい}～

1 配信期間（予定）

令和7年（2025年）11月19日（水）から令和8年（2026年）2月27日（金）まで

2 視聴URL

<https://youtu.be/GCINwyhGabo>

- ※子ども集会の様子を見て、一番心に残ったことを発表しよう
- ※自分たちの学校で、できることはないか考えてみよう

高等部

令和7年度の取組

高等部 1 学年 | 1 学期の取組

2 自分って、どんな人だろう？

よさ・得意なこと



言叶計算が得意・へアアレンジ
上手

ちょっと嫌だなと思うところ・苦手なこと



女子校生のせんぱいと言葉が苦手・
ことが苦手・待つことが苦手・緊張しやすい・
イライラしやすい・すぐ泣く

3 見方を変えてみよう ～リフレーミング～

ちょっと嫌だなと思うところ にがてなこと	見方を変えたと・・・？
イライラしやすい	感受性が豊か 正義感が強い
緊張しやすい	慎重よく考えている
すぐ泣く	感受性が豊か

おちつきがない 落ち着きがない	ゆずれない こだわりがある
いろいろな ことに気付ける	自分の思いを貫 くことができる
イライラ しやすい	負けや失敗が 許せない
感受性が豊か 正義感が強い	理想をもっている 一生懸命

かんそう
感想

イライラしやすいところや緊張しやすいところ
泣きたいときは泣いていいと矢口た

かんそう
感想

自分らしさが、大切な面もあったり、他人の良さや
違いを受け入れるたり、することが大事とわかりました。
自分は自分の悪い面があとあとがわかる時が一
番いやです。はやめに気づき、なおせるようにがんばり
ています。

1 学期は「自己理解」をテーマに取り組みました。人権とは何か、改めて確認をし、「自分らしさ」について考えました。自分の長所や得意なこと、短所や苦手なことについて考え、ワークシートに記入していきました。5月に行われた校内実習の評価や日頃の学習や生活の中で知り得た、良いところ、頑張らなければならないところを含めた自分自身について、改めて振り返ることができました。

また、「自分らしさ」を考える際に、短所や苦手なことと向き合うために「リフレーミング」の手法を学びました。自分の短所と考える一面は、長所となる一面もあるのではないかと、一人一人考えていきました。

高等部 1 学年 2 学期の取組

□様々な差別の解決策

その人としゃべってみる。いろいろ人と交流し違いを知る。
お互を認め合う。

??

多様性を大切にするために何ができる？

どんなことにきをつけたい？

??

差別をしない

個人の違いを認め合う

??

多様性を大切にするために何ができる？

どんなことにきをつけたい？

??

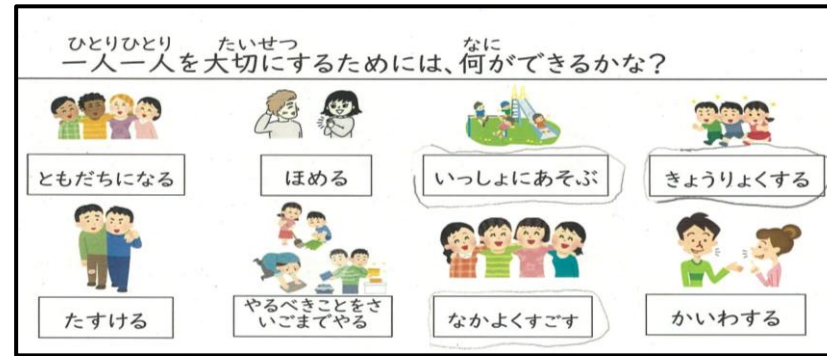
人をみかけでは人だんない

□感想

僕は、人は人 男性 女性 人けいなく 思った と思いました。バスや電
車で せきをやる時は、しっかり人の おたい ちょうをみて ゆすり たいと
思います。

2学期は「多様性」をテーマに学びを深めました。まずは、その意味を確認し、「外国人への差別」について考えました。外国人への対応について○か×かを考え、×の対応の問題点について考えを深めました。また、差別が起きない、差別を起こさせないためにはどうしたら良いのかも考えていきました。

特別の教科 道徳で学習した「違いを認め合う」ことに併せて、「多様性」について学んだことは、より活発な意見につながり、効果的な学習ができました。



2学期は「多様性」のテーマから「一人一人を大切にしよう」を目標に、学びを深めました。日常の行動や人権に関わる内容で「この行動は○?×?」と、一人一人が考え、選択肢を用いて、LGBTQの視点から相手を認め合うことを学びました。差別が起きない、差別を起こさせないためにはどうしたら良いのか、一人一人を大切にするためには、自分自身ができることを考え、今後の日常生活へ生かしていくことをお互いに確認しました。

高等部 2 学年 1 学期の取組

① 数十年前の就職試験

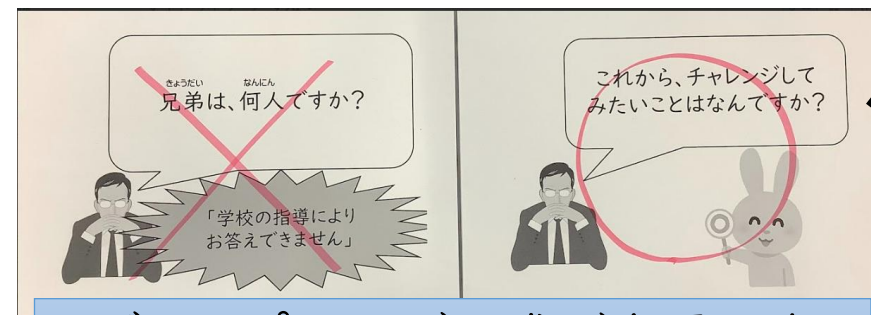
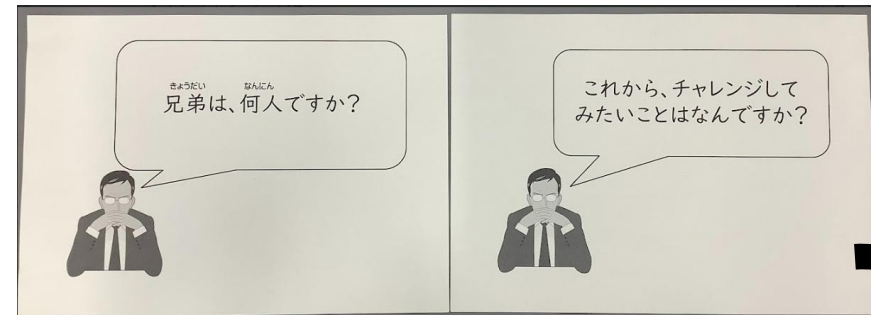
感じたこと

理想不尽

違反質問については、「嫌だ」「(能力に関係なく評価され) 意味が分からない」など、否定的な意見が多かった。

(初めて知ったことや気を付けたいこと、差別のない社会をつくるために自分ができることなど)
京大就職試験のことで矢張りすることができて違反質問は就職差別につながることを知ることができたのでよかったです。

Aグループ: グループで協議



Bグループ: クイズ形式で全員が考える機会を設けた。

親の職業や家族のこと、具体的な出身地等の、本人の仕事に対する意欲や能力に関係ない質問については、答える必要がないことを確認し、就職試験における違反質問について学びました。

Aグループでは、グループ協議を行い、「違反質問の何が問題なのか」について考えました。また、違反質問は差別につながることを確認しました。

Bグループでは、違反質問について学んだ後、クイズ形式でどの質問が違反質問になるのか、具体的に確認しました。

高等部 2 学年 2 学期の取組

原因が分からない病気が流行ったら
どう思いますか？

気に
しない

怖い

かな
悲しい

不安

いやだ

どんな気持ちに
なるだろう？

共同の井戸を使わない
ように追られた

水俣の出身というだけで結婚
や就職を断られた

水俣病患者の家族に近づか
ないようにされた

家の中に消毒液を
かけられた

差別をなくすために
自分にできること。

考えてみましょう!!!



「原因不明の病気が流行したときに、自分だったらどう思うのか」を、まず考えていきました。その後、水俣病について学習を行い、人権問題について考えました。水俣病患者やその家族は、就職や結婚を断られたり、家に消毒液をかけられたりする等の差別を受けていたことを知り、不当な差別を受ける人の辛い気持ちや、差別することは許されないことを、改めて確認することができました。差別をなくすために自分ができることについて一人一人考え、「相手の気持ちを考える」「相手が嫌なことを言わない」などの意見が出ました。



感想

イライラした時の対処法が知れたので良かったです。
アンガーマネジメントのアンガー記録をしてみたいと思いました。
また、仲が良くてもきょり感を大事にしていきたいです。
うてー本分を意識してすごしたいです。気をつけたいです。

感想

実習での課題で距離感があったので人との距離感をきをつけようと思った。
自分のタイアをいかり知ることができた。
相手の気持ちを考えて言葉を発しようと思った。

感想

1年の時に「パーソナルスペース」の勉強をしたのを
思い出しました。仲良くなったからって慣れなれしく体をさわ
らな...自分かもしイライラしたら、6秒待つことを頑張る

★自己評価 王す。

3 年生の人権学習では、ハラスメントについて学習しました。どのような行為がハラスメントにあたるかを知り、加害者にならないためのアンガーマネジメントや被害に遭ったときの対処法について、それぞれの立場で、しっかりと考えることができました。知識として知っておくことや、嫌なことがあったときは記録をしたり、相談をしたりすることが大切だと確認することもできました。「仲が良くても距離感を大事にしたい」等の普段の生活から意識していきたいことを自分で考えることができました。

高等部 3 学年 2 学期の取組



私は松橋西支援学校のトリセツをつくること
はいいと思いました。トリセツを作ることで自分のこと
を知ってもらえるきっかけになると思った。
一つ一つの歌では自分とかなる点もあるから
いしてもよかった。ほめおにごっこもしてみたい
と思いました。1人1人の言葉を言うより相手を
褒めることで自分も相手も良い気持ちになるから
いいかなと思いました。

自分の心にのこった学校のとりくみは、熊本県立
松橋西支援学校のとりくみです。他の学校と
の交流をして自分とともだちの良い所を見つけたり、
周りときょうりょくしたりして一人一人がにこやかに
いるので自分も同じように話し合いをしたり、かつどうを
したいなと思いました。

2 学期は、熊本県人権子ども集会の取組を視聴しました。熊本県内の小学校、中学校、高校及び特別支援学校の報告を真剣に聴く姿が見られました。生徒の感想には、「トリセツを作ることで、自分のことを知ってもらえるきっかけになると思った。」「ほめおにごっこをしてみたい。嫌な言葉を言うより相手を褒めることで、自分も相手も良い気持ちになるから。」等の記載があり、本校生徒の多くは、特に松橋西支援学校の取組が印象に残ったようです。また、「いろいろな学校の話をして、みんな一人一人を大切にしたいと思った。」等の感想もあり、周囲の人を思いやり、大切にしようとする意識も見られました。

○高等部の人権目標について

1年生
高等部で過ごして
いくための意識

2年生
働くための意識

3年生
社会に出るための意識

新しい友達・先生

高校生になったという自覚

新しい校舎・授業

様々な働き方

本格的な現場実習

さらに広がる人間関係

成人としての責任

1学期：自己と向き合う



2学期：他者とのかかわり



3学期：地域や社会とのかかわり

最高学年になるための準備

卒業に向けた準備

進路決定

高等部	1年生	2年生	3年生
	高等部で過ごしていくための意識	働くための意識	社会に出るための意識
1学期	○高等部で自分の良さや伸ばしたいところを考え、実践しよう。	○自分の良さや伸ばしたいところを学校や家庭で生かし、生活を整えよう。	○自分自身の言動を見直し、責任を持とう。
1年間の目標・新しい環境	【自己と向き合う】 ○自尊感情・自己開示・偏見など、人権課題の解決に必要な概念に関する知識(知識) ○自己についての肯定的態度(価値・態度) ○人権の視点から自己自身の行為に責任を負う意思や態度(価値・態度)		
2学期	○だれにでも、感謝の心、聞く態度、言葉遣いに気を付けて過ごそう。	○苦手なことでも、周りの人と協力して助け合って乗り越えよう。 ○周りにいる人と話し合いをし、様々なことを前向きに解決しよう。	○これから出会う様々な人とよりよく過ごすためには、何が大切か考え、実践しよう。
現場実習・スポーツフェスティバル	【他者とのかかわり】 ○自他の価値を尊重しようとする意欲や態度(価値・態度) ○能動的な傾聴、適切な自己表現を可能とするコミュニケーション能力(技能) ○対立的問題を非暴力的で、双方にとってプラスになるように解決する技能(技能)		
3学期	○人権子ども集会でどのような取組をしているか知ろう。 ○周りの人とよりよく過ごすために、自分ができることを考えよう。	○身の回りの人権課題に興味を持とう。 ○友達や身近にいる人の良いところを見つけ、認め合おう。	○様々な人権課題を振り返り、意識して過ごそう。 ○これまでの生活を振り返り、様々な人に感謝の気持ちや思いを表そう。
進級・卒業、学校を越える	【地域や社会とのかかわり】 ○人権の発展・人権侵害等に関する歴史や現状に関する知識(知識) ○多様性に対する開かれた心と肯定的評価(価値・態度)		

高等部		1年生 高等部で過ごしていくための意識	2年生 働くための意識	3年生 社会に出るための意識
1学期		○高等部で自分の良さや伸ばしたいところを考え、 実践しよう。	○自分の良さや伸ばしたいところを学校や家庭で活かし、生活を 整えよう。	○自分自身の言動を見直し、 責任を持とう。
現行		自分の良さや伸ばしたいところを知ろう	自分の良さを生活の中で生かそう	自分自身の言動を見つめ直そう
1年間の目標・新しい環境	【自己と向き合う】			
2学期		○だれにでも、感謝の心、聞く態度、言葉遣いに気をつけて 過ごそう。	○苦手なことでも、周りの人と協力して助け合い、 乗り越えよう。 ○周りにいる人と話し合いをし、様々なことを前向きに 解決しよう。	○自分とこれから出会う様々な人がよりよく過ごすためには、何が大切か考え、 実践しよう。
現行		感謝の心、聞く態度、言葉づかいを大切にしよう	友達など身近にいる人の良いところを見つけ、互いに助け合おう	様々な人と適切な関わり方をしよう
現場実習・スポーツフェスティバル	【他者とのかかわり】			
3学期		○人権子ども集会でどのような取組をしているか 知ろう。 ○周りの人とよりよく過ごすために、自分ができるところを 考えよう。	○身の回りの人権課題に興味を 持とう。 ○友達や身近にいる人の良いところを見つけ、 認め合おう。	○様々な人権課題を振り返り、 意識して過ごそう。 ○これまでの生活を振り返り、様々な人に感謝の気持ちや思いを 表そう。
現行		自他の違いがあることについて知ろう	自他の違いを認め合おう	相手の良さを認め、思いを伝え合おう
進級・卒業、学校を越える	【地域や社会とのかかわり】			

- ・より行動に移せるような具体的な言葉
- ・様々な人権課題を身近に感じられるような3学期に歴史や現状に関する項目
- ・行事や学年の特性を生かせるような目標設定



教師一人一人が意識する機会

今後も、人権を尊重する社会の実現に向けて、
児童生徒、教職員、みんなでよりよい学校の在り方を考え、
行動していきたいと思います。

地域の皆様の御理解と御協力を
よろしくお願いします。